

御立岬ジョギングフェスタ2005

谷川真理さんとさわやかに快走



つつじ満開の御立岬を快走

4月24日、総合型地域スポーツクラブ事業「御立岬ジョギングフェスタ2005」が御立岬公園芝生広場をメイン会場に開催されました。

大会には、子供からお年寄りまで約1、800人が参加。

オープニングでは、湯の香太鼓の演奏、海王塾や葦北鉄砲隊の演武が披露され、

参加者の盛大な拍手を受けていました。

参加者は、さわやかランナー、のんびりランナー、ゆつくりランナーの順に並んで、葦北鉄砲隊の号砲で

御立岬ジョギングフェスタ2005

一斉にスタート。春の穏やかな陽射しの中、つつじの咲き誇る御立岬公園を不知火海を眺めながら走り、さわやかな汗を流しました。

ジョギングの後には、谷川さんのトークショーが行われ、中学・高校のころの陸上の話や足の筋力を鍛える

トレーニング法など実演を交えながら話されました。

ゲストのマラソンランナー谷川真理さんは、参加者全員がゴールするまでの間に、約3キロのコースを3往復し、参加者に声を掛けたり、手をつないだりと楽しく走っていました。

谷川さんの周りには、サインを求める行列ができていましたが、ゼッケンやTシャツに快くサインをしていました。

閉会式の後、抽選会、二コーススポーツ体験コーナー、大声コンテストが行われ、参加者は思い思いに各コーナーを楽しんでいました。



オープニングを飾った湯の香太鼓



海王塾による空手の演武



大歓声の葦北鉄砲隊演武



少年野球田浦南クラブによる選手宣誓



子供たちに快くサインをする谷川さん



それぞれのペースでジョギングやウォーキングを楽しむ参加者



咲き誇るつつじを楽しむ参加者



谷川さんと一緒に走る子供たち



谷川さんの指導で筋力トレーニングに挑戦する参加者



御立岬温泉センター付近の
スタート地点から続く列（シンボルタワーから）



子ども会によるみこし（湯浦諏訪宮）

湯浦諏訪宮

4月23日、湯浦諏訪宮例大祭が、同神社で行われました。

神事後、境内の特設舞台で大正琴やカラオケが披露されました。また、子ども会によるみこしや紅白の餅投げが行われ、大いに賑わいました。

佐敷諏訪宮

4月27日と28日の両日に行われた佐敷諏訪宮例大祭は、みこし巡行で幕を開けました。計石保育園で鏡開きが行われ、酒が振舞われた後、「葦北鉄砲隊」の祝砲を合図に白装束に身を包んだ約50人の氏子たちが佐敷駅通りや向町、佐敷商店街を通過、諏訪神社まで約5時間かけて町内を練り歩きました。



豆力士のかわいい土俵入り

4月28日、九州高校選抜相撲選手権大会が開催されました。第14回を迎えるこの大会には、熊本、鹿児島両県から4校41人が参加して、気迫のこもった熱い戦いが繰広げられました。

成績は次のとおり。

団体①文徳A②熊本農業③鹿児島実業

個人①清水弓雄（文徳）②橋本高弘（文徳）

③茂岡男樹（鹿実）、南雅由輝（文徳）



地元小学生力士も健闘（佐敷諏訪宮）



佐敷諏訪宮前を練り歩くみこし

4月28日に行われた、恒例の「赤ちゃん土俵入り」には、町内はもとより県内外から1歳前後の男の子85人が参加しました。小さな化粧まわしに紅白のねじり鉢巻を着けた豆力士が熊本、鹿児島両県のアマチュア力士に抱かれて土俵入り。健やかな成長を祈りました。



高校生力士による迫力の相撲（佐敷諏訪宮）

4月29日、芦北町相撲協会（林田孝敏会長）が主催して第5回熊本県少年親善相撲大会が開催されました。

大会には、県内各地から小中学生約80人が参加。団体戦・個人戦が行われ、日ごろの練習の成果を披露しました。

本町から芦北海王塾、芦北田浦クラブがエントリー。保護者や観客の声援を受け、初参加ながら健闘を見せました。

●●● 行楽シーズン到来 ●●● 町内観光施設は長蛇の列

好天に恵まれたゴールデンウィーク期間中、町内の観光施設は大賑わいとなりました。



大好評のゾーブⅡ

芦北海浜総合公園の目玉、ニユージールランド生まれのニユースポーツ「ゾーブⅡ」と、このたびオープンした「ゾーブⅡ」には、多くの家族連れがチャレンジ。透明の大きな球体に入り高台のスタート地点から押し出されると、大きな歓声を上げながら転がり落ちていきました。一方、ローラーリニュージュは、リフトを待つ人が長い行列をつくるほどの賑わいで、ほとんどの人が滑り降りてきたらすぐにリフトを待つ列に並ぶという人気でした。また、オープンしたばかりの遊具施設「子供の城」も多くの家族連れが楽しんでいました。



順番待ちの列ができたスーパースライダー

フ」も終日賑わいを見せていました。芦北町の北の玄関口、道の駅たのうら、物産館「肥後うらら」、「たばくまん」は、今年開通した田浦ICの影響もあり、駐車場はほぼ満車の状態が続ぎ、駐車スペースを探す車が多く見受けられました。

大野温泉センターでは、ゴールデンウィークイベントも開催されており、大勢の観光客が訪れました。温泉や直売所「森のとつとつ」と、食事処とも順番待ちをするほどの大盛況でした。5日には、入浴客の健康を願って菖蒲湯のサービスがあり、入浴客は、神経痛、リュウマチ、肩こりなどに効果があると言われる菖蒲湯でゴールデンウィークの疲れを癒していたようです。

田浦川、佐敷川の河口付近では、潮干狩りを楽しむ家族連れで賑わっていました。



券売機とリフトに長蛇の列ができた海浜総合公園



終日賑わった肥後うらら



大野温泉センター特設ステージの催しに集まった来場者



家族連れで賑わった潮干狩り

4/14 佐敷小学校おやじの会 パトロール隊へ防犯グッズ贈呈

今年3月に結成された「佐小おやじの会 子供を守っと隊」に、芦北地区防犯協会連合会から防犯グッズが贈られました。

芦北警察署で行われた防犯グッズ贈呈式には、谷端勝隊長外5人が参加。坂本警察署長から反射材付のベストが隊長に手渡されました。

式では、坂本警察署長が「芦北町全体の防犯意識の向上に寄与していただきたい」とあいさつ。

同隊は、佐敷小学校のPTAに呼びかけ3年前に結成された「佐小おやじの会」が、近年の児童を狙った事件が多発していることから、自分たちで事件を未然に防ごうと結成されました。

活動内容は、児童が被害に遭いやすい下校時間帯を中心にパトロールを行います。



通報受信から緊急出動、帰署までがパソコンで管理される

4/27 水俣芦北みどり推進協議会植樹祭

芦北マリンパークビーチで水俣・芦北みどり推進協議会植樹祭が行われました。

植樹祭には、県、町、森林組合等の関係者約30人と計石小学校の児童16人が参加。同ビーチを見下ろす斜面に、ヤブツバキ（玉の浦、アカデラ、ト伴）130本を植樹しました。児童たちも大人の指導を受けながら、スコップやくわを使って丁寧にツバキを植えました。



4月のできごと



坂本警察署長から谷端隊長に手渡された防犯グッズ

4/20 高機能消防指令センター開局式

4月に開局した高機能消防指令センターの開局式が、水俣芦北広域行政事務組合消防本部で行われました。

式は、同組合の理事、消防職員など約60人が出席して行われ、坂本消防長が事業経過を報告しました。

式の後、通信司令室で模擬訓練が行われ、通報から救急出動、帰署までの一連の流れを確認しました。

これまで、芦北消防署で通報を受けた119番通報はすべて消防本部の指令センターで通報を受け、各消防署に指令が流されます。

N T T回線の電話による通報の場合、受信と同時に通報者の住所と付近地図が自動的に画面表示され、通報から出動までの時間が短縮されています。携帯電話からの通報でも、通報者からの聞き取りで、地図上に災害地点を決定するシステムとなっています。

通報を受けた情報は、各消防署、消防車、救急車に伝送され、的確に対応できます。



計石小児童と植樹する県芦北坂井地域振興局長、竹崎町長



収穫の日を楽しみにしながら苗を植えるとうもろこしオーナー

4/11 湯町橋開通式

平成15年7月に発生した大災害で流失した湯町橋が3月25日完成し、その開通式が行われました。

式には、県、町の関係者や地元区長など約50人が出席。神事の後、地域住民など約100人が見守るなかテープカットとくす玉が割られ、葦北鉄砲隊の祝砲を合図に全員が渡り初めを行いました。

式では、竹崎町長が「この橋の開通を、交通の利便性の確保だけでなく、地域の活性化に結び付けたい」とあいさつ。

式の後、地元主催による祝賀会も開催され、もち投げと猪汁が振る舞われました。

橋は、総工費2億2,735万円。歩道や照明灯などは、温泉町の景観に配慮したデザインとなっています。



織月酒造堤社長から竹崎町長に手渡された第1号瓶

4/10 大野温泉センター4周年祭

大野温泉センター4周年祭が4月7日から10日までの4日間開催されました。

温泉入浴料や食事処バイキングの割引、紅白もち投げ、大野山菜バイキング、たけのこ収穫周遊バス、サラたま詰め放題など多彩な催しに多くの来場者がありました。

10日には、大野温泉センター近くの畑で、とうもろこしオーナーによる苗の植付けがありました。これは、1口30本のとうもろこしのオーナーを募集した催しで、約50組の申込みがありました。参加者は、約10アールの畑に、準備されたとうもろこしの苗を1本ずつ丁寧に植えました。植え終えた後、オーナーの名前を書いた木札を据付け、収穫の日を楽しみにしていました。



葦北鉄砲隊の祝砲を合図に渡り初め

4/12 芦北産特製高級自酒初荷式

「芦北産特製高級自酒」初荷式が役場玄関で行われました。

町や町議会、原料生産者など関係者約50名が見守るなか初荷がロータリーに到着し、第1号瓶が織月酒造堤社長から竹崎町長に手渡されました。

式典では、竹崎町長が「今年で4回目となる自酒は、杜氏さんが精魂込めてこれまで以上においしく造りいただいたと確信しています」とあいさつ。出席者は、焼酎「葦分」「夢あしきた」の原料となっている大関水源の水で乾杯し初荷を祝いました。

昨年の台風の影響で心配された米の質も良く、昨年末の冷え込みで、例年になく熟れ良いすっきりした焼酎に出来上がりました。

今年は、「葦分」「夢あしきた」あわせて約2万6千本が出荷されます。

環境衛生巡視員を委嘱

(敬称略)



4月12日、役場大会議室で環境衛生巡視員15人に委嘱状が交付されました。

町内を巡視し、ごみの散乱防止活動、環境美化施策に対する提言などを行います。

任期は2年。平成17年4月1日～平成19年3月31日までとなっています。

氏 名	担 当 地 区
片山 幸弘	田浦・横居木
下山 國男	田浦町・宮浦
竹林 公一	小田浦・海浦
山口 等	波多島・井牟田
白石 清	鶴木山・計石・白岩
浅野 輝光	道川内・乙千屋・伏木氏・大尼田・松生・立川
山下 善作	花岡東・町四区・芦北・花岡西・諏訪
山下 勝喜	田川・宮浦・桑原
松崎 馨	市野瀬・大野・国見・東告・西告
才新 重秋	白木・白石
橋本 敏雄	大岩・黒岩・永谷・上原
浅野 陸雄	吉尾・市居原・簀瀬・海路・高田辺・内木場
齊藤 満	湯浦東・宮崎・米田・豊岡・丸山
藤井 庇	女島・湯浦南・湯浦北
山田 廣道	大川内・古石・高岡

お気軽にどうぞ身近な行政相談

4月1日付けで、総務大臣から鬼塚和子さん（田浦町1）と日野輝生さん（向町）が行政相談委員に委嘱されました。

皆さんの身の回りで行政に関する苦情、意見、要望がありましたら、お気軽に御相談ください。

相談は無料で、秘密は固く守られます。

○鬼塚 和子さん 田浦町1173番地

○日野 輝生さん 佐敷399番地



おつかれさまでした

4月13日、役場で、今年3月31日まで行政相談委員を務められた満田栄子さん（田浦1）と馬城隆吉さん（湯浦東）に、総務大臣からの感謝状が伝達されました。

満田栄子さんは、平成3年4月1日から14年間、馬城隆吉さんは、平成12年7月1日から4年9か月間行政相談に当たられました。



「全国一斉特設相談所」開設

日 時 6月1日（水）10:00～15:00

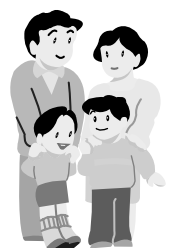
場 所 もやい直しセンター

芦北町農村環境改善センター

人権擁護委員は、いつでもあなたの相談に応じます。

本町では、人権擁護委員として次の方々が法務大臣から委嘱されています。

○宮川 壽男 小田浦787-18
○西村 文美 小田浦3335
○山本ふじ子 田浦町211-1
○平嶋 初義 天月1361-1
○橋口 郁子 湯浦66-6
○梅田 安子 花岡202
○吉尾 一秋 吉尾614



母子・父子家庭等に対する 高校修学援助金の支給について

母子・父子家庭等に対し、子育て支援の一環として高校修学資金の一部を援助します。

◇受給資格

- ・母子家庭及び父子家庭の世帯主
- ・本町に引き続き3年以上居住していること
- ・子又は孫が、学校教育法に基づく高等学校又は高等専門学校の正規の修業年限に在学中であること

◇支給額

1人当たり年額15,000円

なお、収入や年金受給の状況によって支給制限があります。

◇申請期限

5月31日（火）まで

※申請先及びお問い合わせは、

役場福祉課児童家庭福祉係（本庁舎）へ ☎82-2511（内線151）

戦没者等の御遺族の皆様へ

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金（第8回特別弔慰金）が支給されます。

◇支給対象者

対象となる御遺族は、次の順番による先順位の御家族お一人です。

- 1 弔慰金の受給権者
- 2 戦没者等の子
- 3 戦没者等と生計関係を有しており、かつ、戦没者等と氏が同じである
①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹
- 4 上記3以外の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹
- 5 上記1から4以外の御家族で、戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上生計関係を有していた三親等内の親族

◇支給内容

額面40万円、10年償還の記名国債

◇請求期間

平成17年4月1日～平成20年3月31日

※請求先及びお問い合わせは、

役場福祉課社会福祉係（本庁舎）へ 電話82-2511（内線151）

お知らせ

平成17年度毒物劇物 取扱者試験の実施

- 【期日】8月2日(火)
 - 【時間】10時30分～12時40分
 - 【場所】熊本県立熊本農業高等学校
 - 【受験資格】18歳以上の方
 - 【受付期間】6月1日(水)～6月10日(金)
(土・日は除く)
 - 【受付時間】8時30分～17時
- ※受験願書は、水俣保健所にあります。郵便により願書を請求する場合は、1200円分の切手を同封してください。

※お問い合わせは、
県健康福祉部業務課へ

☎096-383-1111
(内線7164)

旧日本赤十字社救護 看護婦、旧陸海軍従軍 看護婦の皆様へ

総務省では、次の方に内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。

- 旧日本赤十字社救護看護婦
- 旧陸海軍従軍看護婦

※慰労給付金の支給対象とならない方に限ります。

【請求期限】平成19年3月31日

※請求書は、役場福祉課にあります。

※お問い合わせは、

役場福祉課社会福祉係(本庁舎)へ
☎82-2511(内線151)

学卒求人受理説明会

平成18年3月新規学校卒業業者(中学・高校)を対象とする求人受理説明会を開催します。採用を計画されている事業主及び、御検討中の事業主の皆様はぜひ御出席ください。

【期日】6月10日(金)

【時間】13時45分～

【場所】つなぎ文化センター会議室

○求人申込みにあたっての注意点

- ・新規学校卒業業者用の求人票は一般の求人票と異なります。求人票の用紙は説明会終了時に配布の予定です。

- ・求人申込みは、事業主又は採用事務担当の方で、採用条件等の説

明ができる方の来所をお願いします。

※お問い合わせ及びお申込みは、
水俣公共職業安定所学卒係へ

☎62-8609

健康セミナー開催

健康に関し悩みを抱えている方を対象に、病気のメカニズムや臨床事例を挙げながら解説する「健康セミナー」を開催します。(入場無料)

【期日】6月11日(土)

【時間】14時～16時

【場所】水俣病情報センター講堂

【テーマ】「人間ドックの話」

※お問い合わせは、

水俣病情報センターへ

☎69-2400

スマトラ島沖地震救援 金の募集期間の延長に ついて

スマトラ島沖地震救援金の募集期間を延長されることになりました。

【募集期限】6月30日(木)

【受付方法】

①郵便振替

口座番号 00110-2-5606

名義 日本赤十字社

・振替用紙の通信欄に「スマトラ

島沖地震救援」と明記してください。

- ・郵便局窓口での取り扱いに限り、振替手数料免除

- ・日赤が発行する受領証を希望する場合は、通信欄に「受領証希望」と明記してください。

②銀行振込

銀行名 みずほ銀行新橋中央支店
口座番号 普通預金1954800
名義 日本赤十字社

海外救援金口2

- ・みずほ銀行本店・支店、ATMからの振り込みについては手数料無料

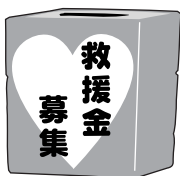
- ・ATMによっては口座名義入力文字数に制限がありますが「二ホンセキジュウジヤ」までの入力でも送金は可能です。

- ・日赤が発行する受領証を希望する場合は、件名または本文に「スマトラ島沖地震救援」と記入のうえ、振込者名、受領証の宛名、送付先住所・電話番号、振込金額、振込月日、振込先(みずほ銀行)をinfo@jrc.or.jpあて、メール送信してください。

※お問い合わせは、

役場福祉課社会福祉係(本庁舎)へ

☎82-2511(内線151)



お誕生おめでとう



H17. 4. 1～4. 30 受付分

(敬称略)

名 前	出生日	性別	保護者	行政区
田川 斗陽 とや いちか	3.30	男	裕 介	湯南団地
高峰 苺花 ひな な	3.30	女	裕 介	宮 浦
宮内 陽菜 ひな まさと	3.31	女	貴 則	白 岩
橋本 将人 まさと のり	4. 2	男	貴 博	大岩一
牧野 珠理 みのり くれん	4. 3	女	盛 満	湯浦南
齊藤 蓮 れん	4. 6	女	孝 廣	湯南団地
福山 陽斗 はると ゆうすけ	4.12	男	友 慎	湯浦北
佐藤 佑亮 ゆうすけ しょうた	4.14	男	昌 也	湯浦東
中村 颯汰 そうた	4.24	男	圭一郎	花岡北

ご冥福をお祈りします



H17. 4. 1～4. 30 届出分

(敬称略)

死亡日	亡くなられた方	年 齢	行政区
4. 1	松 崎 ヨシエ	92	計 石 東
4. 5	中 村 シズエ	103	田浦町3
4. 6	白 濱 重 喜	67	小田浦5
4. 6	田 口 清 吉	67	花 岡 東
4. 7	上 村 マサエ	73	宮 浦
4. 7	宮 内 キヨ子	85	白 岩
4. 8	坂 本 アイノ	84	大川内東
4. 8	長 木 ハルエ	83	天 月
4. 9	前 川 勇	79	田 浦 2
4. 9	川 口 フサモ	84	米 田
4.11	藤 井 末 夫	78	平 生
4.14	吉 川 フジエ	100	大川内東
4.14	岩 本 マサヨ	60	海 浦 1
4.16	石 崎 政 一	77	計 石 東
4.17	高 野 美津子	72	花 岡 西
4.17	尾 崎 辰 夫	77	大 野
4.17	山 崎 藤 雄	57	田浦町4
4.24	磯 見 ミサヲ	101	計 石 東
4.25	橋 本 フジ子	86	湯 浦 南

人口のうごき (H17.5.1現在)

()内は前月比

人 口	21,688人	(－ 10)
男	10,147人	(＋ 9)
女	11,541人	(－ 19)
65歳以上	6,992人	(－ 10)
高齢化率	32.2%	(－ 0.1)
世 帯 数	7,632世帯	(＋ 34)

俳 柳

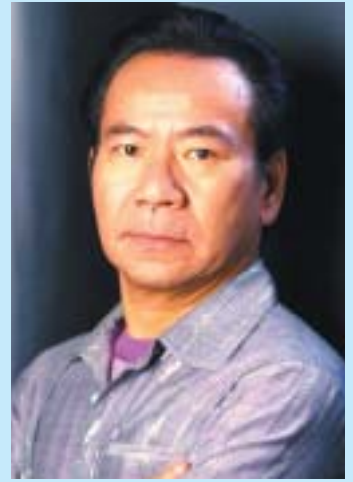
春浅き庭に清しき雪やなぎ
 巢立つ子と南薩の旅春しぐれ
 龍頭のごと稜線に春霞
 ひと夜さの春の嵐に落ち椿
 山肌を花粉ながるる峽の里
 一森 嘉市
 元村 房子
 杉村 さの
 山本 峰子
 黒田あきえ

短 歌

雪柳の白き小花の暮れ残る風落ちつきしひとときの庭
 新しき赤松川の川岸に勢うクレソン流れを反す
 新設の駅に降りたつ娘と孫と今満開の桜を仰ぐ
 風のまま宙をさまよう朝顔の蔓はひたすら手を求めている
 楓の花知らざりしわれ驚きぬ今年はことさら目立つ花房
 野村れい子
 溝口 陵子
 山下 忠子
 満田 圭一
 福田 芳子

鶯は声さわやかに鳴き交し白き辛夷の花びら散らす
 いつの日か立てぬ日恐る緋牡丹も崩れ落ちたる昼の静寂に
 明日あるを祈りて灯り消す部屋に闇ふかくして犬の遠吠
 離れ住む娘に古里の香りをとデコポンとお茶荷造りをする
 不知火の海春の陽に輝きて行き交う船の航跡しるし
 鳥居 静子
 米良ヤスモ
 松本 一枝
 徳永 保人
 加来 道子

芦北町開町記念



開催決定！

◇とき 平成17年6月12日(日) <公開録画>

開場/11:00 開演/11:45 終演/13:30(予定)

<予選会>平成17年6月11日(土) 13:00~18:00(予定)

◇ところ 芦北町民総合センター「しろやまスカイドーム」

◇ゲスト 島倉千代子・大川栄策

◇司会 宮本隆治アナウンサー

◇放送日 平成17年6月26日(日)

◇主催 芦北町・NHK熊本放送局



芦北町区長会

4月22日、新町発足後初めてとなる区長会が役場で開催され、区長を代表して畑中会長に委嘱状が交付されました。

町内85地区の全区長が出席し、役員を選任しました。役員は次のとおり。(敬称略)

会長 畑中秀夫(宮崎)

副会長 川尾敏男(小田浦4)、川口 登(乙千屋)
深川昭明(市居原)、鎌畑照夫(白石)

会計 白石 清(白岩)

監事 馬城隆吉(湯浦東)、山下康一(田浦4)

常任理事 菅野 章(田浦3)、藤本安義(田浦町1)
江口 一(芦北)、松本謙一(花岡東)
橋本敏雄(大岩二)、谷岡高雄(海路)
藪 博人(西告)、一谷英雄(市野瀬)
藤井 博(平生)、古田千利(高岡南)

神門マセさん元気に満100歳



4月8日、田浦の神門マセさんが元気に100歳を迎えられました。

神門さんは、現在新清苑に入所されており、同施設でのお祝いとなりました。お祝いには、御親戚の方が駆けつけられ、施設利用者約30人と共に100歳の到達を祝いました。

神門さんは、足が不自由ですが、しっかりと口調で会話をされるほどお元気です。長生きの秘訣をお尋ねすると「長生きしたいと思わないこと」と話していただきました。

雑誌を読むのが好きだった神門さんは、目を悪くして周りの方に迷惑をかけてはいけないと、雑誌を読むのをやめられたそうで、最近では、認知症の防止に、都道府県名と赤穂浪士47士の名前、同級生の名前を暗唱することを日課にされています。

編集後記

▽取材に訪れた「高機能消防指令センター」で、模擬訓練後の取材中、救急車を要請する119番通報が…。訓練同様、的確で迅速な行動を取る隊員の出動まであっという間の出来事に感嘆。
▽指令センターの方から、火災発生時に119番で火災の問い合わせをする方がいるとのこと。他の緊急通報に影響しますので、火災問い合わせ専用電話6316666を使用しましょう。(宮)